

# くしお

令和5年7月臨時会  
令和5年9月定例会



## 議会だより No.70

ケーブルテレビでは、議会の生放送・再放送に加え、議会の紹介コーナーもあります。



89歳の竹細工職人 澳本信男さん（令和5年9月21日、入野漁港）

- 2 P 令和5年度一般会計補正 脱炭素事業などで5億円増
- 10P 教育委員会 来年度から佐賀総合センターに
- 11P 佐賀地区工業用地 熊井地区も調査へ
- 15P **町政を問う!** 8議員が一般質問を

# 令和5年9月定例会

9月8日から20日まで開催。令和4年度一般会計決算・特別会計決算、令和5年度一般会計補正予算、条例の一部改正、辺地計画の変更などの21議案が提出され、全議案が認定、可決された。また、一般質問では8議員が町政への質問・提案をした。



一般質問の一コマ（9月15日）

4億9853万円を追加し、総額をそれぞれ11億7644万円とするもの。  
概要は、脱炭素対策費として、新エネルギー会社への事業補助金や出資金。新型コロナウイルス感染症対策事業として、住民税非課税世帯等に対する電力、ガス、食料品等価格高騰緊急支援交付金に加え、対象を住民税均等割のみ課税世帯約400世帯への経費等の増額。  
また、来年度から教育委員会が総合センターへの移転に伴う費用や、佐賀地域の工業用地整備事業概略調査委託費用などが主なもの。  
これらに対応する歳入は、普通交付税の額の確定による増額、国・県支出金及び町債などの特定財源を充当し、基金繰入金で収支の調整を行っている。

可決（全員）

主な補正

コロナ関連で追加の支援を

■電力、ガス、食料品等価格高騰緊急支援給付金（均等割世帯）

800万円

新型コロナウイルス感染症対応事業として、6月定例議会にて議決済みの住民税非課税世帯等に対する電力、ガ

## 目次

- 2P 一般会計補正 5億円追加  
脱炭素、コロナ関連に
- 3P 新エネルギー会社設立  
補助金3億5千万円
- 5P 一般会計補正（追加）  
台風被害へ迅速対応を
- 6P 令和4年度一般会計決算  
2.2%減 109億円
- 8P 令和4年度特別会計決算
- 10P 教育委員会 来年度から  
佐賀総合センターに
- 11P 佐賀地区工業用地  
熊井地区も調査へ
- 13P 一般会計補正（臨時会）  
コロナ、参議院補選に
- 15P 町政を問う！  
8議員が一般質問
- 23P 現地に行きました！  
県管理の地区要望箇所

●令和5年度一般会計補正予算  
脱炭素事業やコロナ関連などに

5億円弱追加し総額11億8千万円弱に

ス、食料品等価格高騰緊急支援交付金に加え、対象を住民税均等割のみ課税世帯約400世帯とし、1世帯当たり2万円を支給するもの。

**教育委員会 来年度から佐賀に移転**

- 総合センター関連工事 請負費 2792万円
- 事務什器等備品購入費 1969万円
- 教育委員会移転に伴うネットワーク設定委託料 451万円
- ネットワーク改修工事 請負費 107万円

前記4件は、来年度から教育委員会が町総合センターへ移転に伴う運搬や同センターの改修、各種設備工事、事務什器等の備品、ネットワークの構築などの必要な経費を計上している。



黒潮町総合センター（右奥には佐賀庁舎）

# 新エネルギー会社へ 補助金3億5千万円

脱炭素先行地域の関連事業始まる

**新エネルギー会社 設立へ**

■新エネルギー会社補助金 3億4541万円

本年度、国の脱炭素先行地域に採択されたことにより、活用ができる有利な交付金事業である地域脱炭素移行、再エネ推進交付金事業に係る経費。

本年度の主な事業は、公共施設等への太陽光発電設備、蓄電池の導入、また、発電設備のエネルギーをマネージメントするためのシステムの設計、導入を計画している。

**新会社の株式 過半数保有を**

■新エネルギー会社出資金 510万円

地域脱炭素移行、再エネ推進交付金事業を推進するに当たり、設立予定の新エネルギー会社に対し、株式の過半数を保有するための資金を出資金として予算計上するもの。

「ゼロカーボンシティ黒潮町」のイメージ図



## あったか拠点の 光熱費などの補正

■あったかふれあいセンター事業委託料

126万円

大方地域の4つのセンターの光熱費の補正とエアコン1台の設置。

また、デジタル推進に係る情報連携のためのタブレットを配置するもの。

### Q 宮地 葉子 議員

事業委託の内容は。

また、同センターは大方、佐賀の両方にあり委託先が違うが、両方に関連するものか。



あったか北郷でゲームを楽しむ利用者たち（9月下旬）

### A 佐田 健康福祉課長

これは大方地域の同センター4カ所分の補正。

大方地域は、NPO法人らしいのみに委託しているが、光熱費の高騰などで、にじきの広場、白田川、北郷への追加補正。

また、北郷のエアコンは、現状、広い部屋に家庭用エアコン1台で対応しているが、利用者も多いため効きが悪く、利用者の健康状態を考え、1台追加設置するもの。

また、町、社協、あったかセンターの情報連携を行い、重層的に支援が必要な方への対応を図るために、各あったかにタブレット端末の配置を考えて、しいのみ関連の5台分の購入を予定している。

## 入野松原再生の パンフレット作成

■入野松原再生計画概要版パンフレット作成委託料

113万円

昨年度に作成した入野松原再生計画を、より周

知し理解を深めてもらうために、分かりやすい概要版のパンフレットを作成するための経費。

### Q 宮地 葉子 議員

このパンフレット作成は大変いいことだと思うが、活用方法は。

### A 今西 海洋森林課長

今回、より一層、松原保全に関する理解を深めて頂くことを目的としたコンパクトな改良版を500冊作成し、昨年度、松原のアンケートに回答いただいた関係者の皆さまや、今後、松原のイベント関連、町内の小中学生などに配布を予定している。

## 宿毛市陸上競技場 整備に分担補助

■宿毛市陸上競技場整備費補助金

48万円

宿毛市陸上競技場の整備費用を、県及び幡多6市町村で補助することになったことを受けての本町の負担分。

## 宿毛市陸上競技場の全景

(宿毛市山奈町芳奈)



### Q 濱村 美香 議員

補助金について、これに至った経過などは。

### A 岡本 教育次長

この補助金は、宿毛市陸上競技場の改修にあたり、これまでは市立の陸上競技場で同市の管理だったが、同市単独で陸上3種の公認競技場としての改修と、改修後の維持は困難だと判断した。これにより、県、幡多6市町村にて協議を進める中、幡多地域にこの競

技場があれば公認記録の大会が開催でき、地域の子どもたちも高知市に行かず大会に参加できるため、必要との結論に至った。

これにより、改修、維持の応分の負担を、県、幡多6市町村で組んだもので、負担割合は、設計費、工事費共に県が2分の1、宿毛市が4分の1、残り4分の1を5市町村で応分の負担としている。

### Q 山本 久夫 議員

今後、維持管理への応分の負担をするのか。

### A 岡本 教育次長

県、幡多6市町村にて協議を進める中、維持管理費についても一定負担をしながら運営していくことが必要だと判断になっている。

ただし、この維持管理費は、基本的にその陸上競技の3種に必要な分のみに一定負担をするもので、競技場運営全てにかかるというものではない。

## 拳ノ川診療所の 災害医療充実を

■消耗品費

128万円

■備品購入費

162万円

前記2件は、拳ノ川診療所へ着任の澤田医師との協議により、災害医療関係の備品等を追加整備するための経費。

## 坂折公園のロープ ステンレスに

■坂折河川公園ワイヤーロープ張替工事請負費

400万円

坂折河川公園で行っているカツオと鯉のぼりの川渡しに必要なワイヤーロープを、安全対策等のため鉄製からステンレス製に張り替えるための費用。

## 伊与喜川の 河川浚渫を

■河川浚渫工事請負費

300万円

町管理の伊与喜川浚渫工事費用。

# 令和5年度一般会計補正予算【追加提案】 台風7号被害へ迅速な対応を

1千万円余追加し 総額118億9千万円弱に

先月8月中旬に発生した台風7号に関連する被害に対応するため、迅速な対応が必要だと判断し、9月議会での補正予算の追加提案をするもの。

この補正は、1085万円を追加し、総額をそれぞれ118億8729万円とするもの。

概要は、林道の補修費および修繕工事の追加等により、285万円の増額。公共災害復旧工事の追加により800万円の増額。

これらに対応する歳入は、国庫支出金および町債の特定財源を充当し、基金繰入金で収支の調整を行っている。  
可決(全員)

## 主な補正

### 町道、河川の 災害復旧を

■公共災害復旧事業工事  
請負費 800万円  
町道荷稻鈴線と普通河川の上藤縄川の災害復旧工事の費用。



上藤縄川の災害現場

林道有井川線の災害現場



### 林道関連の 土砂撤去や補修を

■林道維持補修費

205万円

林道伊与喜線、黒ノ瀬線、馬路線、上川口線、小川線の土砂撤去や補修の費用。

■林道修繕工事請負費

80万円

林道上川口線の路側修繕工事の費用。

## 議会の課題探る 意見交換会を開催中！

議会の改革・改善に向け、ご意見をお聞かせ下さい。

### 意見交換会の一例です (三浦校区)



夜間の開催でしたが、年齢層を問わず大勢の方の参加を頂き、たくさんの活発なご意見などを頂きました。また、「こんな機会があって良かった」とのありがたい声もありました。

◆議会運営委員会からのお知らせです！

4月の町議会議員選挙において、定数割れとなるなど町議会を取巻く環境が大きく変化しています。

こうした状況下、皆さまには今回の選挙結果も併せ、日頃より議会に対する様々な思いやご意見があるのではないかと考えています。

町議会としても将来の議会の在り方などについて熟考する良い機会と捉え、皆さまとの意見交換会を通じて様々なご意見をお伺いし、今後の議会運営に活かしたいと考えています。

議会運営委員長 山本久夫

# 令和5年度特別会計補正予算

## 拳ノ川診療所 診療の充実を図る

●国民健康保険直診特別会計

135万円を増額し、総額をそれぞれ6375万円とするもの。

主な内容は、拳ノ川診療所において、診療日を確保するために高知医療センターから医師を招聘するための経費、また、今後のオンライン診療等の導入を見据え、幡多地域で同システム運用している「はたまるネット」へ加入するための経費を追加するもの。

可決(全員)

## ろ過池の修繕や 流量計更新を

●水道事業特別会計

収益的収入及び支出では、水道事業費用の予算額を729万円増額し、

合計を2億7924万円とするもの。

資本的収入及び支出では、資本的支出の予算額を1400万円増額し、合計を2億7450万円とするもの。

また、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額を7945万円から9345万円に改め、補てん財源に建設改良積立金を加えるもの。

可決(全員)

○収益的収入及び支出

■蜷川ろ過池修繕費

200万円

蜷川ろ過池の修繕が必要となったため200万円を追加計上するもの。

■水位計修繕費等

452万円

水位計の故障2カ所と漏水調査の結果による配水管の修繕を追加計上するもの。

薬注設備取替修繕が行われた鞭水源地(手前中央)



○資本的収入及び支出

■鞭上水道施設薬注設備取替工事請負費

200万円

有井川西谷配水管敷設工事請負費 200万円

■佐賀配水流量計更新工事請負費 1千万円

前記3件の工事は、緊急に必要となったため計上するもの。

## 決算に伴う 補正3件

●国民健康保険事業特別会計

3854万円を追加し、総額をそれぞれ17億8927万円とするもの。

●介護保険事業特別会計

4180万円を追加し、総額をそれぞれ18億6139万円とするもの。

●宮川奨学資金特別会計

369万円を追加し、総額を1851万円とするもの。

前記3件の概要は、令和4年度決算に伴う翌年度繰越金の追加や、基金への積立金などの計上によるもの。

以上3件 可決(全員)

## 条例の一部改正

### 早咲避難集会所 高台に完成

●町立避難集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正

昨年度、早咲地区の高台に防災活動の拠点、地域住民の交流の場として建設した集会所施設を、避難集会所として位置付け、早咲避難集会所と名付けて追加するための改正。

可決(全員)



消防屯所と合築の早咲避難集会所(左側)

補修工事予定のカバノキ橋(中央)



## 馬荷辺地計画変更

### 馬荷地区の橋や 道路の補修改修を

●馬荷辺地に係る総合整備計画の変更

昨年度変更した馬荷辺地総合整備計画の当該地区内に架橋のカバノキ橋の老朽化による補修工事、当該地区と隣接の大井川地区を結ぶ町道大井川馬荷線の道路改良工事、及び、集会所の耐震改修工事を新たに追加するもの。

可決(全員)

# 令和4年度 一般会計決算

## 2.2%減 109億2千万円余

物価高騰、コロナ対策の充実で100億円越えに

### 令和4年度 一般会計決算の概要

歳入 (億円)		歳出	
ふるさと納税等の寄附金 10億7519万円	寄附金 9.5%	公債費 14.4%	町債を返納する費用 15億7844万円
町民が納める税金 8億5717万円	町税 7.6%	人件費 15.0%	職員給与などにかかる費用 16億3407万円
自主財源 11億810万円	その他 9.7%	扶助費 6.7%	福祉施策などにかかる費用 7億2857万円
自治体運営の均衡を保つため、国から地方へ配分されるお金 45億8388万円	地方交付税 40.4%	普通建設事業費 17.3%	災害復旧事業を除く投資的な費用 18億9128万円
決まった目的に使うための費用の一部、または全部を国、県から交付されるお金 23億5601万円	国・県支出金 20.8%	物件費 20.2%	災害復旧事業費 1.0% 1億1233万円
町が事業費用の財源不足を補うために借り入金 9億9544万円	町債 8.8%	補助費等 13.6%	消費的性質の費用 22億221万円
依存財源 3億6690万円	その他 3.2%	繰出金 8.6%	負担金、報償費、補償費などの費用 14億9020万円
		その他 3.2%	他の特別会計などへ繰り出す費用 9億5千万円余
			その他 3億5388万円

### ●令和4年度 一般会計決算の認定

○歳入決算額 113億4269万円

対前年度比、3億6414万円、3・1%の減

○歳出決算額 109億2510万円

対前年度比、2億4676万円、2・2%の減

歳入から歳出を差し引いた形式収支は4億1758万円となり、このうち翌年度に繰り越す事業の財源は、1億2235万円となっている。

また、実質収支額は2億9522万円の黒字となっており、この実質収支額から基金への繰入額は2億円とし、基金への繰入額を差し引いた純然たる翌年度への繰越額は9522万円となった。

歳入では、ふるさと納税寄附金が10億7308万円、対前年度比1億653万円、9・0%減。

国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や新型コロナウイルスワクチン接種に係る補助金等、コロナ対策など交付金はあったが前年度のコロナ対策事業の違いもあり、総額は15億2629万円で、対前年度比3億8466万、20・1%減となった。

歳出では、移住支援員や保育職員、集落支援員に係る人件費の減、障害者自立支援給付費や児童手当に係る扶助費は減となったが、緊急防災・減災事業債元利償還金などの公債費が8470万円、5・7%の増。

投資的経費は、普通建設事業の補助事業、単独事業及び災害復旧事業も、前年度比較で減となっている。

また、一般会計等の決算における健全化判断比率の状況は、実質公債費比率が10・0%、将来負担比率は昨年同様に算定の数値がマイナス43・5%と健全財政となっている。

認定(全員)

# 令和4年度特別会計決算の認定

## ●国民健康保険事業特別

会計

### ○歳入総額

15億6885万円  
不納欠損額は68万円、  
収入未済額902万円。

### ●国民健康保険税収入

2億5927万円  
前年度比1852万円  
減。収入未済額は969  
万円、前年度比26万円  
減。

### ●県支出金

11億1124万円  
前年度比1億2895  
万円減。

### ●繰入金

1億6862万円  
前年度比261万円減。

### ○歳出総額

15億3030万円  
前年度比1億4607  
万円減。なお、歳入と歳  
出の差引残額は3854  
万円。

### ●保険給付費

10億6744万円  
前年度比1億3130  
万円減。

### ●積立金

2698万円  
同事業財政調整基金へ  
の積み立てで、昨年度比  
2476万円増。

### ●認定(全員)

### ●国民健康保険直診特別

会計  
○歳入総額

4223万円  
診療収入 920万円  
前年度比194万円減。

### ●一般会計繰入金

2700万円  
前年度比800万円増。

### ○歳出総額

4190万円  
前年度比408万円増。

差引残額は33万円。

認定(全員)

### ●介護保険事業特別会計

○歳入総額  
16億8286万円

### ●保険料

2億6425万円  
収入未済額202万円。

### ●一般会計繰入金

2億6609万円  
前年度比1億711万円  
増。差引残額は4168万  
円。

### ○歳出総額

16億4117万円  
前年度比2737万円  
減。

### ●認定(全員)

### ●介護サービス事業特別

会計  
○歳入総額

1603万円  
前年度比480万円増。

### ○歳出総額

1603万円  
差引残額は572万円。  
収入未済額はなし。

本会計は、介護保険の  
予防給付の対象となる要  
支援者の介護予防計画を  
作成し、介護予防サービ  
ス等の提供が確保される  
ように運営しているもの  
で、収入未済額はなし。

認定(全員)

### ●後期高齢者医療保険事

業特別会計  
本事業は、平成20年度  
から始まった75歳以上の  
方々の医療保険を運営す  
るもの。

### ○歳入総額

2億2555万円  
前年度比1億3849万円  
増。還付未済額を除いた保  
険料収入未済額は24万円  
で、前年度比3万円増。

### ●一般会計繰入金

7866万円  
前年度比480万円増。  
事務費に係る費用や、保  
険料軽減措置を行なった  
保険料について一般会計  
から繰入れるもの。

### ○歳出総額

2億1868万円  
前年度比1868万円  
増。後期高齢者医療広域連  
合納付金

### 合納付金

2億741万円  
前年度比906万円増。  
差引残額は687万円。

認定(全員)

### ●住宅新築資金等貸付事

業特別会計  
本事業は、貸付事業が  
終了しており、現在は貸  
付金の回収のみ。

### ○歳入総額

1535万円  
収入未済額は6181  
万円、前年度比947  
万円減。

### ○歳出総額

196万円  
差引残額、翌年度繰越  
額共に1338万円。

### ●認定(全員)

### ●宮川奨学資金特別会計

○歳入総額

2086万円  
返還金 1542万円  
収入未済額は665万  
円、前年度比60万円減。

### ○歳出総額

1717万円  
不用額は36万円。

### ●奨学資金貸付金

1047万円  
前年度比1047万円  
増。

基金へ積み立て

663万円  
また、差引残額、翌年  
度繰越額共に369万円。

認定(全員)

### ●情報センター事業特別

会計  
○歳入総額

2億7503万円  
前年度より658万円  
増。収入未済額は56万円  
で前年度比12万円増。

### ●繰入金

1億3781万円  
一般会計からの繰入金。

### ○歳出総額

2億7488万円  
差引残額は14万円。

### ●認定(全員)



乳児検診の一コマ



IWKのシンボルマーク  
(IT'S A WONDERFUL  
KUROSHIO TOWNの頭文字)

●給与等集中処理特別会計

水道事業会計を除く各会計の特別職、一般職の人員費を一括で処理しているもの。

○歳入総額・歳出総額共に 13億9905万円  
前年度比2340万円減。  
認定(全員)

●水道事業特別会計

令和4年度の年間配水量は155万1410立方メートルで、対前年度比1・9%の減。年間給水量は123万626

9立方メートルで、対前年度比1・2%の減。主な建設改良工事は、

入野地区配水管布設工事、錦野地区配水管布設替工事及び、有井川地区配水管布設替工事を施工。また、鞭と熊野浦の取水ポンプの取り替えと上川口浄水場への排泥管の設置工事も行っている。

○事業収益

2億4871万円  
前年度比1・4%の減。

○事業費用

2億3631万円  
前年度比5・8%増。

熊野浦地区の配水施設。この施設そばの取水ポンプの取り替えを実施



会計

○歳入総額 772万円

○歳出総額 770万円

差引残額は2万円弱。  
認定(全員)

●農業集落排水事業特別会計

○歳入総額 6923万円

○歳出総額 6875万円

差引残額は47万円。  
認定(全員)



上川口の水源地。左側が機械室、右側の白い建物が令和4年度に排泥管の設置と、ポンプ配管の取り回しを行った水源井戸とポンプ室(上川口取水設備)

増加の主な要因は、原水及び浄水費の動力費、電気料の増加、総係費の委託料の増加。当年度は、昨年度比で事業収益は減少。一方、事業費用は増加となったが、損益では1240万円の純利益となっている。  
認定(全員)

陳情の審議

陳情第1号、国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書について、及び陳情第2号、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める意見書採択のお願いについての2件が、付託した産業建設厚生常任委員会にて不採択となったため、本会議で審議をしたもの。  
不採択(多数)

討論

賛成 水野佐知議員

私は3つの観点から、この陳情書について賛成する。

1つ目は、この制度によって、憲法で保障された国民の命と暮らしが脅かされると考える。

2つ目は、今年2月10日の国会で財務省が消費税は預かり金ではないとの説明をしている。

3つ目は、この制度によって、免税事業者だけでなく、国民皆に影響を与えると共に、益税とい

賛成 宮地葉子議員

地方の経済は、小規模業者や家族経営も農林漁業者事業主などの免税事業者も多い中で、お互いが助け合って何とか地域経済を回している。そのような中で、中身が非常に複雑で分かりにくいこの制度の実施は、地方経済には欠かせない小規模業者に大きな影響があると考え、賛成する。



う考え方が間違っていると考えるからだ。また、この法案が通ったのは、コロナやウクライナ侵攻以前のこと。物価が上がりに、ガソリン代や電気代が上がる中で、少なくとも今は無理だと考え、賛成する。

反対 山本久夫議員

我々国民は、消費税を納める義務がある。

店で買った物をすれば消費税を払っており、買った物をした店に預けた形になっている。

その私たちが預けたお金を、事業者が法律に基

づいて納税してもらおうというルールが、この制度だ。この制度が大変複雑だという方もいるが、税控除を受ける上で、両方が控除をできる条件が分かる適格請求書を発行するもので、消費者を守るという制度だと考え、反対する。

# 委員会のうづしき

## 総務 教育

常任委員会

教育委員会

来年度から佐賀総合センターに



委員長 奥本 哲也

**Q** 移動関連の費用の内容は。

**A** トイレの改修や前宮崎医院より土地の寄附があり、その場所を駐車場に整備する費用、事務用品の購入費など。

●令和5年度  
一般会計補正  
■教育委員会佐賀総合センター移動費用  
5570万円



宮崎医院より寄附の土地

**Q** 今後の管理、維持費はどうなるのか。  
**A** 陸上3種競技公認に必要な費用については、幡多6市町村でこれからの一定の負担が生じる。



宿毛市陸上競技場 (山奈町芳奈)

■宿毛市陸上競技場整備費補助金 48万円

●令和4年度  
一般会計決算  
歳入

■企業版ふるさと納税 100万円

**Q** 件数は。

**A** 1件納税で、企業にもメリットが大きく、今後も積極的にPRしていく。返礼品は不要。

### 歳出

■一般職員時間外手当勤務手当 2034万円

**Q** 前年度と比較して、残業の時間等どうか。

**A** NO残業DAYの実施で昨年度より、800万円減額している。

■大方高校魅力化推進協議会補助金他 1816万円

**Q** 成果は上がったか。

**A** 行政がかかわるようになり、不登校の生徒が登校するようになった。入学支度金など保護者より感謝の声が聞かれ、優位に働いている。女子サッカー部員の勧誘も併せ積極的にPRしていく。

■下田の口地区耐震性貯水槽設置工事 1167万円

■中ノ川地区耐震性貯水槽設置工事 935万円

**Q** 40tの同じ貯水槽だが、設置費に差額があるのはどうしてか。

**A** 設置工事の難易度によって金額に差が出る。一応、貯水槽の設置工事はこれで終了する。

■避難誘導灯修繕費 444万円

**Q** どのような修繕か。

**A** 設置時期が分かっているなら、定期的に交換計画を行っている。

■南郷小学校長寿命化改修工事 3438万円

**Q** 南郷小学校の計画は終わりか。

**A** 長寿命化計画は終わ



避難誘導灯

**A** 避難誘導灯のバッテリーの老朽化による交換費用で23件分。発注して数か月かかり、費用もかなり高額になって来たためダメになったものから交換していく。

■子ども見守りカメラ設置 163万円

**Q** 見守りカメラの設置場所はどこか。

**A** 3台中2台が更新新規の1台は佐賀駅に設置した。抑止効果は大きいと思う。

りだが、大方中学校の計画が残っている。これから補助金の申請に入る。

●令和4年度宮川奨学資金特別会計歳入歳出決算

**A** 令和4年度の申請件数は32件、子どもの数も減少している。10年前と比べ申請件数が半分になった。貸付額が減少している中、返済額が多くなっている。

●町立避難所の設置及び管理に関する条例の一部改正  
今年3月、早咲地区の高台に、消防屯所と合築で避難集会所が建築された。これにより、町内の避難集会所は4カ所となった。

## 現地を見て来ました！

9月12日、委員会終了後、今年3月に完成した早咲消防屯所・避難集会所の現地視察を行いました。  
敷地も広く、設備内容も安心して使用できる施設だと思いました。



避難集会所（左）は消防屯所（右）と併設



集会所の板張り広間



集会所の畳の間、奥はキッチン

## 産業 建設 厚生

常任委員会

## 佐賀地区工業用地 熊井地区も調査へ



委員長 濱村 美香

**Q** 熊井地区は圃場整備をしている所が多いが、可能な場所があるか。

**A** カツオのぼり、ワイヤー修繕へ

■工事請負費

400万円

**A** 現在、東公園、上分地区、馬地区、坂折、横浜地区の高台の5カ所の調査が終了し、概略設計ができています。あと2地点ほど探している。

坂折公園内のカツオのぼり修繕概要は、ワイヤーと滑車、ウインチを交換予定。支柱は交換済みで、今回は実施しない。

●令和5年度一般会計補正予算

## 工業用地の調査 熊井地区など追加

■委託料 179万円

現在佐賀地区で浸水区域外に、工業用地の適地を探しているが、今後、伊与喜校区まで調査を広げるためのもの。



優雅に泳ぐカツオのぼり（坂折公園）

# 令和4年度一般会計・特別会計決算の認定

## ●一般会計決算

### ■林業振興費について

**Q** 町行造林分収事業について、現状は。また、個人事業主への売り出しは可能か。

**A** 伐採の適齢期を迎えたところは、森林組合と協力して実施しており、佐賀地区においては、所有者4、町6の割合で収益を分担している。

しかし、今後、マンパワー不足が課題である。個人事業主への売り出しは可能である。

## 交流事業、町内外から参加可能

### ■町民館事業について

**Q** 紙バンド手芸等、町外の方も参加可能か。

**A** 交流事業のため、町外の方も参加可能。

## 月曜日の診察 月2回が追加に

### ■診療所費について

**Q** 佐賀診療所への医師確保運営補助金は、現状維持のための補助金となっていないか。

**A** 火曜、水曜、金曜と週3回の診察日に、月曜日の診察が月2回増えた点は成果といえる。

### ■衛生センターの長寿命化について

**Q** 年間、かなりの修繕費がかかっている。住民の生活になくはならない施設であり、建替えをすれば修繕費の削減になるのではないか。

**A** 建替えの必要性も感じるが、膨大な費用が掛かる。完全に機能が停止しないよう修繕していく。



紙バンド教室で、かこ作りに励む参加者  
(令和5年9月 大方町民館)



修繕しながら稼働中の衛生センター（令和5年10月、灘）

## 入野地区宅地造成 安全性確保のため しっかり調査を

### ■基本設計委託について

**Q** 令和4年度の2400万円の設計委託で、完全に配慮した造成ができると判断できたか。

今後、盛り土の安全性を調査し、確実に造成工事ができるように詳細設計については予算確保が必要ではないか。

**A** 機能維持を目的としているもので、令和3年から令和5年に工事を実施する3カ年計画に基づくもの。

## ●漁業集落排水事業特別会計

**Q** 鈴地区の排水施設の老朽化について、修繕か、廃止か。

**A** 漁業集落排水事業は、長期的な修繕計画はなく、国費、県費、受益者の数も考慮しながら今後の方向性を検討していく。

## ●水道事業特別会計

**Q** 上川口取水場所のろ過装置の運用開始は。

**A** 令和6年から令和7年に整備し、令和8年から運用開始の予定。

## ●農業集落排水事業特別会計

**Q** 機能強化の設計、1950万円あまりは、何年を見込んでいるものか。

# 令和5年7月臨時会

7月25日に開催。専決処分の承認1件、一般会計補正予算、特別会計補正予算1件が提案され、全件が可決・承認された。

## 【専決処分の承認1件】

■農地災害復旧工事費 870万円

●令和5年度一般会計補正予算

2億673万円を追加し、総額をそれぞれ113億1229万円とするもの。

主な事由は、6月に発生した台風2号等による被害等に対応するため先決処分に対応したものの。

承認(全員)



通称パイロットの農道路肩崩落現場 (大和田)



町道水無瀬線の路肩崩落現場 (馬荷)

農業用施設の災害復旧に

■測量設計委託料 1300万円

■農業用施設災害復旧工事費 9770万円

公共土木施設の災害復旧に

■公共災害復旧事業工事費 7600万円

●令和5年度一般会計補正予算

コロナ対策・参議院補欠選挙関連を

6561万円追加し総額114億円弱に

6561万円を追加し、総額をそれぞれ113億7791万円とするもの。

主な事由は、コロナ対策として事業者支援経費、参議院徳島高知選挙区の補欠選挙関連の事務経費。

また、ハウス資材等の農業資材高騰の影響を受けている施設園芸農業者へのハウス整備事業補助金や、水産業成長産業化沿岸地域創出事業費補助金などによる追加補正。

可決(全員)

コロナ対策で補助交付金による支援を

●商工事業者等電気・ガス高騰対策支援事業補助金 1千万円

町内事業者に対して、事業に要した電気代・ガス代を支援するもので、前年度10月から12月までの経費と今年度同月を比較し、100万円を上限に補助を行うもの。

■漁船用燃油高騰緊急対策事業費補助金 1千万円

1千万円

コロナ禍における燃油

価格の高騰対策で、漁業用燃油購入費の一部を支援するものであり、1リットルあたり20円の負担軽減を図るもの。

■セーフティネット燃油高騰緊急対策事業費補助金 1462万円

町内の漁業経営セーフティネット構築事業に加入済みの漁業者に対し、燃油高騰時のセーフティネット発動時における漁業者負担分の一部

に対し、支援を行うもの。

参議院補欠選挙関連事務費用

■参議院議員選挙費 1830万円

議員辞職に伴い、本年10月22日に実施される補欠選挙に係る選挙事務経費を計上。

選挙事務費用を8月から執行することもあり、9月議会定例会を待たずに、直近の本議会に予算の提案をするもの。

なお、当経費は、国政選挙のため、執行経費の全額が県支出金の対象経費となるもの。

## ハウス資材高騰で補助率かさ上げ

■ハウス整備事業費補助金 500万円  
ハウス資材等の農業資材高騰の影響を受けている施設園芸農業者を支援するもので、補助率のかさ上げを行うもの。



## ピニールハウス群（入野） 鈴木大敷の漁具導入に一部補助

■水産業成長産業化沿岸地域創出事業費補助金 412万円

国の補助事業に、県及び町が上乘せ補助を行う

ための水産業成長産業化沿岸地域創出事業費補助金を活用して、鈴木共同大敷組合が高知県漁業就業支援センターより漁具をリース方式で導入する経費の一部を補助するもの。

## 幡多広域観光協議会へ応分の負担金を

■幡多広域観光協議会負担金 108万円

この協議会は、今後見込まれる訪日外国人旅行者などに対応できる商品作りにつなげる取り組みを、幡多地域全体で実施し、対応が図れるようにするための組織。

### Q 山本久夫議員

この負担額は、人口割りなのか。

また、以前、四万十川というネームバリューで、幡多地域と言いつながら四万十川が中心になるという懸念があった。

現状は分からないが、負担金を出し合うのだから、応分の恩恵に配慮すべきと思うが、いかがか。

恒例となったTシャツアート展（入野の浜）



### A 秋森産業推進室長

幡多広域の負担金の負担割合は、毎年、人口基準財政収入額、宿泊施設の収容人員、飲食サービス業の割合などを基に算出している。

また、取組みについては、これから進めていく事業なので、当町としても体験メニューなどを取り込んでもらおうと共に、意見等を出し合いながらより良いものにしていきたい。

## 拳ノ川診療所にPCR検査機器

●令和5年度国民健康保険直診特別会計補正予算 72万円を追加し、総額をそれぞれ6240万円とするもの。内容は、拳ノ川診療所への新型コロナウイルスのPCR検査機器の購入。可決（全員）

### ■備品購入費 72万円

検査後に陽性、陰性のコロナ対策として、現在、町内には未導入のPCR検査機器を、直診の拳ノ川診療所に1台購入するもの。

### Q 山本久夫議員

この検査機器は、多くの医療機関で使用の一般的な機種で、検査に要する時間は約1時間程度。

PCR検査で陽性が出た場合の診療所の対応は、



PCR検査機器（右）を導入した拳ノ川診療所（上）

### A 青木地域住民課長

検査は、室内で行うが、他の患者さんの診療が終わってからの時間等を指定して実施するので、他の患者さんへの感染はないと考えている。

また、診療所のスタッフについては、防護服等を着用での診療となると思われる。

### Q 宮地葉子議員

PCR検査費用は、どのくらいか。

### A 青木地域住民課長

医療点数等にも関係するが、3割負担の方で3千円ほどだと聞いている。

訂正します

前回の議会だより（8月1日付け）6P「紹介します」コーナーで、大会名の記述に誤りがありました。「トライアスロン」とあるのは、正しくは「アクアスロン」でした。

# 町政を問う!!

一般質問とは、町政全般について、フリーテーマで行政側に質問するもので、議員の権利のひとつとなっています。

## 8 議員が質問・提案を

### 地域福祉計画

#### 住民と共創し 地域福祉向上を

#### 住民の声聴き 推進する



はまむら みか 議員  
濱村 美香

**問** 地域福祉計画は、地域福祉推進の主体である住民の参加を経て、地域課題を明らかにし、その解決のために必要となる施策の内容や量、体制について関係機関や専門職が協議をし、計画的に支援サービスを推進していくものである。

今回策定された計画は行政と社協の推進計画と見たが、住民と共創するために対話や周知が必要と考える。今後の推進の在り方を問う。

**答** 佐田健康福祉課長

新型コロナウイルス感染症拡大前は、地域での住民座談会を開催していたが、ここ数年は開催が難しくなってきた。そのため、あったかふれあいセンターの運営推進会議で出された意見を拾い上げたり、作業部会を3回開催し、若い世代から貴重な意見をいただいたりした。

今後、計画委員とともに、住民の皆様の声を拾い上げながら、進捗管理や、随時の更新をしていく。

周知については、計画委員には送付している。デジタル推進の観点から、ホームページでの閲覧をお願いしている。希望があれば窓口で、印刷したものをお渡しできるように対応する。

**問** 精神障害を持つ方への支援、未就労の若者への支援、ヤングケアラーに対する具体的な施策がないが、町の取り組みは。

**答** 佐田健康福祉課長

精神障害のある方への支援は、特性に応じた個別支援を行っていく。未就労の若者やヤングケアラーの支援については策定が努力義務化された「黒潮町子ども計画」の中で支援の詳細を検討していく。

**問** 自身の時間を削って奉仕するボランティア活動は尊いことである。福祉活動を担うボランティアの力は大きく、今後も大切な福祉人材と考える。ボランティア活動をしていく方へ感謝の気持ちを大切に、ボランティア教育も推進されると思うが、具体的な取り組みを問う。

**答** 佐田健康福祉課長

具体的な福祉教育としては、小中学校、高校、町内事業所等を訪問しボランティアや地域共生社会についての学習の機会を提供する。

また、ボランティアフェスティバルを通して活動団体の広報、周知、活動の支援をしていく。

ボランティアセンターを運営する社会福祉協議会が活動しやすいように支援していく。

様々な団体や個人が活動し、地域福祉の推進を行っていただいていることは承知しており、今後もその力を借りながら、住民活動を支援していく。



見守り支援事業でボランティアさんによるお弁当作りの様子  
(令和5年9月28日 保健福祉センター)



あさの しゅういち 議員 浅野 修一

## 防災減災対策

# 飲料水兼用耐震性貯水槽を 早期の整備は考えていない

**問** 佐賀地域には、浸水想定区域が多く、佐賀西公園、東公園付近に飲料水兼用耐震性貯水槽を設置すべきではないか。

**答** 村越情報防災課長 入野地区の貯水槽は、令和3年度に工事費7千52万円で設置した。

佐賀西公園、東公園にも浸水区域外の箇所があり設置可能かと思うが、耐震性貯水槽は、水の循環が必要で、設置場所の十分な検討が必要となる。また、飲料水の備蓄方針を、1日あたり一人3リットルとし、全町民1日分を避難所等に分散して備蓄。併せて浄水器を26力所に配備している。その他の防災対策事業等との優先順位を比べた時、次年度以降の早期の整備は考えていない。

**問** 飲料水は一人3リットルで、1日分ということであるが、この備蓄量で十分と考えるか。

**答** 村越情報防災課長 備蓄飲料水の量については現在、全人口の1日分を備蓄し、2日目以降は、浄水器による確保を計画している。

**問** 26力所に配備の浄水器で浄化する水は、どこから取水するのか。また、濁り水でも大丈夫ということか。

**答** 村越情報防災課長 川、プールなどの色々な水のほか、この浄水器は海水対応なので海水も飲料水にとの想定をしている。



飲料水兼用耐震性貯水槽 (入野小学校西側)

## 景観維持施策

重機による早期の対応・対策への対応  
海岸は県管理  
町単独は困難

**問** 7月初旬、海岸線に漂着した流木やプラスチックゴミ等が、いまだにそのままとなっており、県外客からは「ゴミが多くて残念」との声を聞くが、町の予算に見合った適切な対策が必要と考えるが、町の考えは。

**答** 秋森産業推進室長 入野海岸と浮鞭海岸の浜の清掃は、年2回の実施で、今年度は4月22日に実施し、11月19日にも予定している。海岸に流木や漂着ゴミが多数あることは十分に認識している。引き続き、海岸管理者の具に撤去の要望をして、担当部署と協議を行っていく。

**問** 重機による早期の対応、対策はできないのか。

**答** 秋森産業推進室長 海岸清掃用機器の導入には、2500万程度の予算が想定される。入野海岸の管理者は高知県でもあり、町単独では困難だと考える。



入野海岸 (9月9日)



鞭海岸 (9月9日)

## 町長の姿勢

### 均衡発展に佐賀で務めを

### 時々支所で業務したい

**問** 市町村の合併の特例に関する法律中「合併市町村の円滑な運営の確保及び均衡ある発展を図り」とあるが、現状は均衡がとれているか。

そして、佐賀の住民の心情を理解するためには佐賀庁舎で務める事が必要と考えるが、町長の姿勢を問う。

また、高齢化の進む中、自宅又は行政施設等から個人番号カードで戸籍、住基、保険等申請、受領が出来るように設備を整

備する必要があるのではないか。

### 答 松本町長

一例として合併特例債の活用事例として、平成18年57億円、町全体的な事業21億円、佐賀地区10億円、大方地区26・6億円と概ね均衡が取れている。

佐賀庁舎に務めることについては、町長室を少し整備し決済もできるように準備した。時々佐賀の方で業務をするようにしたい。

各種申請、受領については、令和5年4月3日よりコンビニ発行が可能になり、3月27日からインターネットで子育て、介護等個人番号カードで申請可能になった。



議員 矢野 昭三

## 国土強靱化

### 国交省への要望等は意見を踏まえてやる



国道56号線 小黒ノ川大カーブ視距改良

### 問

6月議会で「不破原地区は事故が多い。道路の形状変更か、追い越し車線にするのが良いか、国交省、公安委員会と協議、要望する」との答弁だったがその後の対応は、次に、国道56号の冠水対策についての要望と期待度はどうか。

また、伊与木川の治水関連の県への要望を問う。

### 答 松本町長

状況など調査している段階。国土強靱化の交付金についても、あらゆる所で要望をしっかりと上げています。

冠水対策については、8月9日、国交省、財務省、県関係国会議員へ要望活動を行った。その成果はあり、唯一の幹線道路でもあるので対策の期待度は大きい。

伊与木川の治水については、10月に土木事務所と現地調査を行い要望する予定。

## 町の振興

### 屋内体育館の整備は

### 要望活動を続ける

**問** 土佐西南大規模公園佐賀東地区にある運動場の高上、屋内体育館等整備の見通しを問う。

また、令和4年度に東公園運動場付近の調査をしている。町づくりをどのように進めるか問う。

### 答 松本町長

事前計画の整合性や運動公園で今の高さに建てるか、浸水しないレベルに嵩上げた後で建てるのか、町として具体的なものを進めて要望をする。

現在、工業立地の調査は、外から来るのと同時に中から出ない事を考えている。現代に合った就労場の確保を考えていく必要がある。

### 【その他の質問】

交通安全について



竹などで流れが悪化した伊与木川（9月26日、馬地）

# 辺地等交通不便地への取組み 移動手段の助成を検討する



やまもと まきお 議員  
山本 牧夫 議員

**問** 辺地等で生活する交通不便地弱者や高齢者が体調を崩し、救急車で病院へ搬送されて治療を受ける場合がある。検査と治療に時間を要し、幸いにも入院の必要がない時は帰宅許可が出る。

この時の時刻と家までの距離が障壁となり、夜間はタクシー等を利用しないと帰宅できない。  
この利用料金に対し、一定の助成が出来ないか。

**答** 佐田健康福祉課長

この件について、現時点で支援する事業はない。救急搬送された場合は夜間に及ぶことが多い。その時点では公共交通も走ってなく、家族がいたとしても高齢者のみの世帯や免許返納しているなど、移動手段を持たないことも多くなっている。これから、ますますこのような状況が起きてくるのが想定されるので、今後に向けて検討していきたい。



辺地の集落（9月24日、熊野浦）

## 町道管理対策

### 草刈・支障木対策の充実 作業方法と単価を検討する

**問** 町道等については、新設される道路も含めて毎年、管理する区域が増大し、土木作業員や地域の人手不足もあって、担当課は草刈業務等に苦慮していると思われる。

**答** 河村建設課長

町道の草刈りや支障木、土砂等除去については、29の地区委託と土木作業員による直営で、年に1〜2回行っている。諸事情で作業が遅れ、地区から早急にとの要望もある。今後は防草シートや新機種の草刈機導入を検討する。

草刈単価アップについては、区長の意見も聞きながら、人事院勧告や今後の情勢を踏まえて検討対応をしたい。



町道上の枯木（9月24日、中の川）

新会社 町内業者への影響は

競合でなく連携の組織に



みやがわ のりみつ 議員 宮川 徳光

**問** 国が募集し、当町が今年4月に採択された「脱炭素先行地域」と当

面の事業の概要は。

また、関連の新会社の営業項目が、電力の小売りから地産地消関連まで多岐にわたるが、町内に既存の関連事業所への影響をどう考えるか。

**答** 宮川 住民課長

脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、電力消費に伴うCO2排

出を実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等の温室効果ガス排出削減についても、日本全体の2030年度目標と整合する削減を、地域特性に応じて実現するモデル的な地域として、環境省が100カ所ほどを選定するもので、現在までに62カ所が選定されている。

採択された当町の提案の概要は、「再生可能エネルギーを活用したゼロカーボン防災型まちづくり」として、以前、津波防災対策で戸別津波避難カルテを作成した経験を生かし、脱炭素カルテを全世帯で作成し、各家庭に合った省エネ、再エネ設備の導入を促進すると共に、避難行動要支援者が避難後の継続的なエネルギー利用が可能となる

体制を確保するため、公共施設や福祉施設に太陽光発電、蓄電池等を導入しながら町全域の脱炭素化を図る計画となっている。

当面の事業としては、カルテ作成のため、各家庭へ訪問するとともに、町も出資予定の新エネルギー会社設立を進めて、

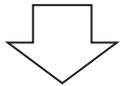
公共施設を中心に太陽光発電設備等の再エネ設備導入を進める予定。

また、この事業は町内の事業者等と競合してまでする必要はなく、むしろ、町内事業者と連携して進める形の組織とするべきだと考えている。

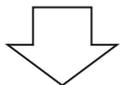
脱炭素先行地域の計画（一例）

～電力の脱炭素化の主な取り組み～

◆町内全戸を訪問し、「脱炭素カルテ」を作成



各家庭に合った省エネ啓発、再エネ設備導入を促進



地球温暖化に対する危機意識の共有  
⇒ 意識改革・行動変容を促す



移住者受入

転入時の意識付け 対策はアンケートに項目追加を

**問** 当町を居住地として選んで頂いた方々が、

様々な面で活躍や貢献をされて地域を盛り立ててくれている。

一方、転入される方に地区の決まり事などを理解して頂くのが難しいとの声も聞くが、転入時、それらを意識づけする仕組みづくりは出来ないか。

**答** 渡辺 企画調整室長

役場の移住支援窓口を通じて移住される空き家バンク利用者や、地域おこし協力隊員については、居住地が決定した際に、職員同伴の上、区長への挨拶をして頂いている。

この移住支援窓口を通さずに転入手続きをされる方も多くいるが、その際には「転入される皆さまへ」としてアンケートを実施し、転入の理由や滞在予定、定住か一時的な滞在か等の内容を聞いている。

そのアンケートに移住や田舎暮らしへの情報などのアドバイスを加えるのは、今すぐにも出来る対策だと担当者レベルでは考えている。

また、協力隊のSNSを開設しての田舎暮らしの情報発信などで、事前に知っていたり、アイディアを出しながら進めたい。

【その他の質問】

・海の環境保全について

# マイナ保険証

## 今の健康保険証を残して 来年12月までには廃止



みやち ようこ 議員  
宮地 葉子

**問** 現在使っている保険証は、期限が切れる前に自動的に役場から次の保険証が送られてくる。マイナ保険証はどうか。

**答** 宮川 住民課長

マイナ保険証は期限が5年。期限が切れると自分で申請する必要がある。

**問** マイナ保険証は、診察の度に暗証番号の入力や顔認証などが必要だが、障害者や介護の必要な方など利用が難しいのでは。

**答** 宮川 住民課長

要介護者や障害のある方等、マイナ保険証の利用が困難な方は、申請があれば資格確認証を交付する。

**問** それなら保険証を残せばいいと思う。

保険証が廃止され、マイナ保険証を持ってない人はどうなるか。

今の保険証を残して欲しいとの声は全国で日に大きくなっているが、

行政は何かアクションを起しているか。

**答** 宮川 住民課長

マイナ保険証を申請しない人には資格確認証がない。

発行される。資格確認書にも有効期限がある。政府は来年(令和6年)に健康保険証を廃止すると言っているので、その手続きを進めている。

### ジェンダー問題

## 女性の権利や個人の尊重を 職場環境づくりに努める

**問** 多様な生き方を認め、憲法に保障された個人の尊重こそジェンダー平等の柱。町は、この問題を前向きに捉えており、役場のカウンターにはレインボーフラッグも置かれている。

**答** 土居 総務課長

職員の給与は給与表に基づいており、制度上は男女の差はないが、様々な状況により女性の給与は男性の96・5%になっている。

役場職員の男女に賃金格差はあるか。非正規職員の割合はどうか。また、生理休暇は気軽に取れる環境か。

非正規職員の割合は、女性が約7割で、主に保育職場の職員が半数程度を占めている。生理休暇は今後も取得しやすい職場環境づくりに努める。

**問** 2年前から生理用品をトイレットペーパーの様にトイレに置く事を提案してきた。その後、学校現場と公共のトイレの実情はどう改善されたか。

**答** 清水 教育次長

現在は、町内全ての小中学校の女子トイレに配備をしている。

**答** 青木 地域住民課長  
県の社協から、生理用品は交換カードを廃止して、直接トイレに置くことになったとメールがあった。町も今後は、公共のトイレへの対応を県の方向で協議する。

【その他の質問】

・国保問題について



レインボーフラッグ (本庁舎受付カウンター)

## 地区支援

### 防犯灯の補助率見直しを

### 現事業見直しなど検討する



議員 依伸 矢野

維持管理の観点から電料の削減効果など利点が大きく、一層の設置推進を図る必要があると考え、そのために地区負担の軽減を図るよう補助率を見直せないか。

### 答 西村副町長

町防犯灯設置補助金は、各地区の防犯灯や白熱灯や蛍光灯が切れてLED灯にする場合や、新たにLED灯を設置する場合には、各地区へ補助している。

**問** 犯罪や事故を無くすことを目的に、防犯灯の設置等について補助金を交付しているが、補助要件は1灯の補助対象経費の2分の1補助(限度額を3万円)、消費電力の少ないLED(発光ダイオード)灯の設置や交換に取組んでいる。

令和4年度末の町内で地区が管理している防犯灯の内、LED灯の割合はどの程度か。

また、現在、町が進めている脱炭素化、地区の

町内全域の防犯灯でLED灯の設置は、令和4年度までの実績では1314灯の内298灯で22・7%となっている。LED灯への変更に係る補助申請の増加に伴って、令和3年度からは補助金の総額を増額して多

くの地区で活用できるように対応している。

防犯灯からLED灯への変更は、長寿命と節電効果がある反面、費用は1灯当たり2万5千円前後で、2分の1を適用しても約1万数千円程度地区が支払う状況にある。

地域の安心・安全を図

ることはもちろんだが、現在進めている脱炭素の取組みの一助となることも必要だ。

人口減少や高齢化などで各地区の予算も限られる中、現事業の見直しなど施策の検討を行う。



設置されたLED(発光ダイオード)灯

## 暮らし支援

### 生活道整備の支援策を

### 課題も多くあり難しい

### 答 土居総務課長

地区内にある公共的な生活道や集落道、法定外公共物(赤線)については、地区要望書を受けて必要性、緊急性、公益性等を総合的に判断し、優先順位をつけて修繕や改修を行っている。

町予算を使用した新たな拡幅や整備を私有地で行うことは、将来的に管理区分や道路境界等の問題が生じる可能性などがあって難しい。

### 問 近隣市町村や全国の自治体では、これらに支援しているところがある。それらを参考に支援策の検討はできないか。

高年齢者や独り住まいの世帯、また高年齢者等の世帯でなくても家まで軽自動車も入らず、徒歩でという一般的に生活道と呼ばれるものが町内に見受けられる。日々の生活や緊急時等において支障をきたしているが、これに対する支援策は考えられないか。

### 答 土居総務課長

独り住まいや厳しい住まい環境にある所もあるので、そのような状況下にある場合はソフト面も含めて対応していきたい。なお、実施自治体の支援策も参考に、効果や財政面も含めて考えていく。

# 重点的に行うサポートを 協議の場で整理をしていく



みずの さち  
水野 佐知 議員

**問** 伊与喜小学校の利活用について、令和5年度に入ってから協議すると聞いたが、その後の進捗状況はどうか。

また、住民からは、今後も楽しみや生きがいを持って、いきいきと元気に生活していくよう、重点的に行うために専門家等のサポートとして、地域おこし協力隊を置いて欲しいとの要望があるが、可能か。

**答** 岡本教育次長

現在、関係の6地区の区長や地域の皆さんと協議を行うよう、区長と日程調整を行っている。

また、サポートについては、地域のニーズを聞く中で、有効活用などの案があれば、適切なサポートをしていく。

地域おこし協力隊については、その活用方法によって、様々なことが考えられるので、まずは、最初に行う協議の場で、意見を聴取した中で整理をしていきたい。

休校の伊与喜小学校



「百五十年の歴史に感謝」の記念碑

## インボイス

### 町への影響 どう考える

### 小さい事業者にあると認識

**問** 水道特別会計において、町は課税事業者で、水道検針員は免税事業者の立場だ。町は検針員に対し、インボイス登録を求めらるか。

検針員が町の求めに応じ、インボイスを登録すると検針員に消費税納税や実務負担が発生する。求めない場合、町は仕入税額控除ができないの

で、その分の消費税は町負担になる。その場合、水道代の値上げはあるか。

**答** 河村建設課長

水道検針業務は、本年度7名と1つの会社に委託をしているが、免税事業者に対し、インボイスを求めることはしない。また、インボイスを出せないから、取引を止めることなどはない。

消費税額については、増えることが予測されるが、現時点では水道使用料の値上げ等は考えていない。

**問** 指定管理者への対応

について。その中の道の駅への影響について問う。ある道の駅では、取引先のうち、インボイスを発行できる業者がわずかで、

その消費税分を道の駅が負担することになる。物価高騰の中、経営が圧迫されることについてどう考えるか。

**答** 秋森産業推進室長

2つの道の駅に確認したが、免税事業者からの仕入れが、どこまで店の利益に影響を及ぼすかは把握できていないとのこと。指定管理者の経営方針に対しては、町は、相談に乗ることは可能だが、最終的な判断は指定管理者の判断が必要になってくる。

**問** 本町のような小さな自治体ほど影響が大きいと思う。インボイスの町への影響について、どう考えるか。

**答** 土居総務課長

小さい事業者に影響が起きていると認識しているが、町としてインボイスを否定しているものではない。

# 現地に行きました！

## 県管理の地区要望箇所、県に現況説明と要望を

現地集合して**午前の部**を！

スタート地点の県道339号道路拡幅要望箇所に集合（出口）



しだの川の河川改修土砂取り除きを（上田の口）



県道大方大正線改良箇所を（蜷川）

例年通り、全員が佐賀庁舎で意見交換をしながらの昼食を済ませて…。

住宅の裏山の治山砂防を（拳ノ川）



現地視察の終了後、佐賀支所にて、県幡多土木所長から回答を頂き、詳細は担当者レベルで詰めて行くことに。県の前向きな取り組み姿勢が感じられた現地視察となりました。

今年度も、町内各地区よりの要望の内、県が所管する箇所について、10月2日（月）に県の担当者、町職員と共に要望箇所72力所の内、17力所に出向き、現況の説明や改善に向けて、より一層の働きかけを行いました。

新規での要望や、緊急性の高い箇所を重点的に視察しましたが、最近の危険性が高いゲリラ豪雨に伴う河川の氾濫対策の土砂の取り除き要望が多く、排水対策など緊急性が高い要望が多い状況でした。

産業建設厚生常任委員会

委員長 濱村 美香

**午後の部**を！



伊与木川の砂利撤去を（上分）



県道の拡幅、横断側溝整備を（市野々川）

# まち地域のかえ広場 No.2

町への思い、地域への思い、議会への思いを届けます。

## ずっと元気でいたいから、バスはなくさないで欲しいわね

夫の定年で、横須賀から夫の故郷の佐賀に越して来たのよ。でも、夫は、来てから2年で亡くなっちゃった。

ココは、のんびりしてていいね。近所の人はお野菜を軒先に置いてくれたり、私がお野菜を軒先にしたブラウスとかを「野良着にして」ってあげたり。この上の方でみかん作りに来てるとお喋りしたり、コーヒを持ってあげたり。そんな助け合いみたいなことをしてる。

夜は、CDかけてジャズとか近江俊郎や藤山一郎の歌を聴いて眠ってるの。

バスの女性の運転手さんとも仲良しで、週に2、3回くらい佐賀の図書館で本を借りたり、隣のあったかふれあいセンターでコーヒを飲んで、みんなで歌ったり。帰りは、近くの喫茶店で、早めのお昼にコーヒとホットケーキかサンドイッチを食べる。まちの人は、皆が親切で助かってるの。

これからも、趣味の花いじりや出掛けて行って、皆とお喋りや歌って楽しく元気でいたいから、バスはなくさないで欲しいわね。



酒井 泰子さん  
(90歳)  
熊野浦在住

## 住んでいる町を楽しみ、足もとの世界から新しい未来を!



塩崎 草太さん  
(38歳)  
上川口在住

7年前、当町に来た当時は、町や砂浜美術館も「なにこれ?」という状態でした。他にも、地区の催しや消防団活動など住民としての活動の多さに、経験したことのない違和感を覚えました。

この「違和感」という感覚を、居心地の悪さでなく未経験の新たな感覚と捉えることで、毎日を新鮮に過ごせたのだと思います。難しさも感じながら、ゲーム感覚で日々何かを攻略との感じてました。

あの頃の感覚も徐々に変わっています。人口1万人余の小さな町は意外と奥深く、まだまだたくさんゲームが待ち受けているように思います。

そう考えると、この町がこれまで培ってきた知恵や営み、歴史が魅力として価値化され、町を楽しむ要素になり得るのではないのでしょうか。昔、「砂浜しかない町」と言われた町の砂浜が、美術館になったように。

こんな価値観を社会で共有できたら、都会とか田舎とかではなく、住んでいる町を楽しみ、課題に直面した時も足もとの世界から新しい未来を創造することができるといけないかと思えます。

### 編集後記

暑さ寒さも彼岸まで、とよく言いますが、今年に残暑が厳しく、秋の訪れの遅さを感じました。

町のあちらこちらでは、何年振りかのイベントも多数開催され、賑わいを取り戻しつつあります。

議会では、魅力ある議会づくりのために、地区に伺い、住民の皆様から議会を見て思うこと、定数や報酬のこと、様々なご意見をいただいています。

開かれた議会づくりのためにも、活動が皆さまに届くよう、広報委員一同、心をひとつにして取り組んでまいります。

(濱村美香)

### 議会広報常任委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員 長  | 宮川 徳光 |
| 副委員 長 | 小松 孝年 |
| 委員    | 濱本 哲也 |
| 委員    | 濱村 美香 |
| 委員    | 水野 佐知 |
| 委員    | 山本 牧夫 |